



ふれあい

2024.2
第28号



コロナに負けない地域づくり



迎春（協議会会長あいさつ）	2
小手指まちづくり協議会臨時運営会議	4
小手指まちづくり協議会視察研修	7



振興

小手指地区体育祭	5
小手指地区文化祭	6
小手指公民館分館文化祭	7
小手指地区ソフトボール大会	7



コミュニティ

小手指地区新春のつどい	2
小手指地区二十歳のつどい	3
小手指区長会視察研修	6



安全

歳末一斉合同パトロール	8
歳末特別警戒	8



福祉

認知症サポーター養成講座	6
--------------	---

青少年育成

モルック競技体験	5
小手指ジャンボリー	8



環境

小手指地区環境推進員視察研修	4
もったいない市（分館）	4



2月から5月までの事業予定

※コロナ感染状況等により中止となる場合があります

● 2月

18日（日）小学生ラケットテニス&モルック教室

● 3月

2日（土）終活講座
14日（木）小手指まちづくり協議会運営会議
24日（日）小手指地区ふれあいウォーク

● 4月

14日（日）小手指まちづくり協議会各団体監査

● 5月

12日（日）（総会）小手指まちづくり協議会
小手指区長会、小手指地区社会福祉協議会
小手指地区青少年を守る会連合会
18日（土）（総会）小手指地区環境推進員協議会
所沢市防犯協会小手指支部
19日（日）小学生ラケットテニス&モルック教室



編集・発行 小手指まちづくり協議会
〒359-1156 所沢市北野南1-5-2
TEL 04-2948-1295 FAX 04-2948-1247
E-mail : b9481295@city.tokorozawa.lg.jp

▼広報委員（順不同）
山田 源一、澤田 和江、永野 正豊、小暮 勝之
山崎 裕司、永澤 俊雄、川口 久夫



迎春

小手指まちづくり協議会会長 宮寺 敏雄



皆様におかれましてはお健やかな新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

昨年5月、コロナウィルス感染症もインフルエンザ同様の5類に移行され、その後各地区や各団体の活動も順調に回復状況にあると感じていますが、まだまだ手探りで事業展開と考えております。当協議会としまして「地区体育祭」や「地区文化祭」また、「各種講習会」、「視察研修」などがほぼ予定通り開催され多くの皆様方にご参加いただき大変有難いと御礼申し上げる次第です。



色々な事業や大会が従前通りになるのはもう少し時間が必要かと思いますが、本年も小手指地区の皆様方が楽しく笑顔があり、小さなお子様から大人まで多くの皆様にご参加いただけるような事業を検討し、またご提案させていただき、安寧な小手指地区のまちづくりに役員一同で取り組んで参りたいと考えておりますので、小手指地区にお住まいになる皆様方の更なる協議会へのご理解とご協力をお願い申し上げます。



小手指地区新春のつどい

1月8日（祝・月）コロナの感染防止のため長らく中止となっていた「小手指地区新春のつどい」が小手指まちづくりセンター（公民館本館）ホールで4年ぶりに開催され、所沢市長並びに柴山衆議院議員をはじめ、地元選出議員、小中学校長、自治会町内会の皆さん70名が参加されました。

式典の終了後、懇親会へと進みました。参加人数が4年前と比べて少なかった感はありますが、新春にふさわしく和やかな雰囲気の中行われ、地域の親睦を深めることができました。





小手指地区 二十歳のつどい

1月8日(祝・月)晴れやかな青空のなか「小手指地区二十歳のつどい」が、小手指地区体育館を会場に303名を迎えて催されました。

式典では、参加者を代表した二人から家族、友人、恩師そして地域の皆さまへの感謝の言葉とともに、これからの将来に向けての決意、抱負が力強く述べられました。式典後には二十歳の実行委員を中心に「つどい」が催され、参加者は友人たちとのひと時を楽しんでいました。



《小野瀬みづき》

本日は、二十歳の節目を迎えた私たちのためにこのような盛大な式典を開いていただき誠にありがとうございます。また、お祝いや激励の言葉をくださいましたご来賓の皆様、ご出席いただきました皆様に対して、二十歳を代表し心よりお礼申し上げます。

この20年間、私たちは多くの人に支えられながら日々成長してきました。私たちが困難に陥った時、不安な時、そしてうれしい時にいつもそばにいてくれたのは、ここにいる友人や、家族、先生方、地域の方々でした。

こうして無事に二十歳の節目を迎えることができたのは、私たちを大切に見守ってくれた、すべての方々のおかげです。本当にありがとうございました。また、本日は久しぶりに懐かしい友人たちと再会することができました。振り返れば、学生時代をともに過ごした友人たちとの思い出が蘇ります。これから、みんな、それぞれの道を歩んでも、青春時代を彩った友人たちは、私たちのかけがえのない財産です。

《井上風真》

二十歳という節目を迎え、嬉しい気持ちがある一方で、めまぐるしく変化する社会に足を踏み入れていくことに対する不安もあります。政治的にも経済的にも不安定な今の社会で、時には難題に直面することもあると思います。しかし、そういったときには、家族や友人、地域の方々が見守ってくれていることを思い出し、大きな壁を乗り越えていきたいです。

私たちの中には、進学し、学業に励んでいるものや、就職して社会人として働いている者などがいて、それぞれが別の道を歩んでいます。状況は異なっても、感謝の気持ちを忘れずに、日々精進していきます。どうか今後も、温かく見守っていただければ幸いです。

簡単ではありますが、さらなる成長を誓い、二十歳代表の言葉と致します。小手指という街で過ごし、ここで二十歳の式を迎えられること、非常に嬉しく誇りに思います。

本日は誠にありがとうございました。

令和6年1月8日

小野瀬みづき
井上風真



〈二十歳のつどい参加者からひと言〉

- いつの間にか二十歳になっていました。今日も朝早くから送り迎えをしてもらって、両親に感謝しています(二十歳女性)
- 大学の勉強が忙しい毎日で、二十歳の実感はあまりない。これからは遊びも両立していきたい(二十歳男性)
- 二十歳になって、社会人としての自覚を持って頑張ります(二十歳女性)
- 二十歳になったことをきっかけに、自分の夢を追いかけて転職します(二十歳男性)
- 久しぶりに友人に会えるのが楽しみです。あっという間に二十歳になって、家族には感謝です(二十歳女性)
- 二十歳になっても童心を忘れずに、生きていきたい。気持ちはいつも十五歳(二十歳男性)
- お天気にも恵まれて二十歳のつどいを迎えることができ、よかったです(母親)
- 実感がわかないけど、何だかうれしいですね(母親)
- 孫の着物、娘の成人式の時に私が用意したもので、処分しなくてよかった。幸せですね(祖母)
- 祖母が着付け、母親が髪の毛をセットしたので、朝から大忙しでした。俺は運転手、でもやっと20年経ったんだな、としみじみ思います(父親)
- 七五三祝い、二十歳の祝いときて、次は晴れ姿か。ちょっと複雑な気分ですね(父親)



二十歳の代表者(実行委員)



小手指まちづくり協議会臨時運営会議

9月27日（水）臨時運営会議が小手指まちづくりセンター（公民館本館）学習室4号で開催されました。議題としては以下の通りです。

①敬老会行事継続基金予算の取り扱い ②見える化シートの目的に関する進行管理について ③その他

廃止された敬老会の予算は、今年度中に小手指まちづくり協議会の予算に繰り入れることを了承。用途については今後検討することになりました。見える化シートに関しては、再度12月に全部会の合同会議を開催することになりました。その他として5点ほど情報共有を含めて協議されました。



小手指地区環境推進員協議会視察研修



9月28日（木）まだ暑さが残るなか「小手指地区環境推進員協議会」の視察研修が実施されました。視察先は横須賀市リサイクルプラザ「Aicle（アイクル）」です。この施設では、搬入された廃棄物が資源ごみ（缶、びん、ペットボトル、容器包装プラスチック、紙パック、段ボール、その他の紙）を選別して、再生工場などで新しい製品等にもリサイクルされます。

なかでも、びんの色仕分、プラスチックごみの中の異物除去を手作業で行っており、大変な作業を目の当たりにし、日ごろ正しい分別をしなければと気持ち新たにいたしました。



もったいない市（分館）

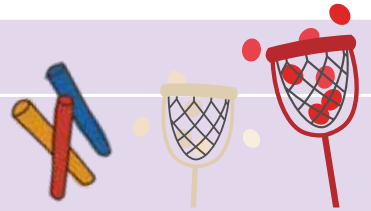
10月1日（日）秋の「もったいない市」が小手指公民館分館で開催され、混雑緩和のために今年度もホールおよびロビーで分散出品を行いました。

毎回多くの来場者がお見えになりますが、今回は昨年度の961名を超えた過去最高の987名の方が持ち込みや掘り出し物を探しに来場され、お手伝いをいただいた環境推進員や自治会の方も大忙しの日となりました。

今後も、春と秋で会場を変えながら地区の皆さんに喜ばれるよう努めます。



小手指地区体育祭



10月1日（日）「第69回 小手指地区体育祭」が上新井小学校で開催されました。

今回は所沢市スポーツ協会創立70周年ということで記念事業の扱いとなりました。

体育祭は4年ぶりの開催となりましたが、当日は天候に恵まれ、子どもから高齢者まで幅広い年齢の多くの方が参加し、それぞれが思い切り身体を動かし、スポーツの秋を満喫していました。



モルック競技体験

10月14日（土）小手指まちづくりセンター（公民館本館）ホールで青少年育成部会主催のモルック競技の体験会が開催され、小手指地区の小学生29名と親御さん3名が参加しました。4面コートを使用して1チーム4名の8チームに分かれ、総当たり方式で競いました。

子どもたちは1セット、2セットとゲームが進むうちにモルック投げにも慣れてチームワークができ、競技中に作戦を練ったり、またファインプレーなどに一喜一憂しながら楽しんでいました。





認知症サポーター養成講座

11月2日(木) 小手指公民館分館において「認知症サポーター養成講座」が定員を超える38名の参加により開催されました。講師には、昨年度に引き続き 森本 剛氏(認知症所沢家族の会代表)をお迎えし、誰でも認知症になる可能性があるということで「認知症を学び みんなで考える」、「認知症を自分のこととして考える」また「認知症について正しく理解する」ことを主に講演されました。



小手指区長会視察研修

10月25日(水) 小手指区長会の視察研修が東京臨海広域防災公園「そなエリア」において実施されました。

「そなエリア」では「東京直下72時間ツアー」と題し、マグニチュード7.3、最大震度7の首都直下地震の発生から避難までを体験し、タブレット端末を使ったクイズに答えながら生き抜く知恵を学ぶ防災体験学習ツアーができる施設となっています。今回の研修では、「防災体験ゾーン」で「東京直下72時間ツアー」の体験、「防災学習ゾーン」では体験ゾーンで疑似体験した災害時の備えを振り返り、具体的な備えを主体的に学びながら、持ち帰って実践につなげる学習展示の2か所で体験学習を行いました。



小手指地区文化祭

11月4日(土)・5日(日) 小手指まちづくりセンター(公民館本館)において「第71回 小手指地区文化祭」並びに「菊花展・盆栽展」が同時開催されました。2日間とも天候に恵まれ多くの方にご来場いただきました。

開催初日には「北野新明組囃子連」によるお囃子がオープニングセレモニーとして披露されました。舞台発表7団体、菊花展・盆栽展を含む展示発表が13団体となりました。また、コロナで中止となっていた模擬店も復活するなどにぎやかな2日間となりました。



振興

小手指公民館分館文化祭

11月11日(土)・12日(日)「第31回 小手指公民館分館文化祭」が小手指公民館分館で開催されました。

2階、3階で9サークルの展示発表、2階では昨年より3サークル多い15サークルの舞台発表が行われ、日ごろの成果を披露していました。また、子ども広場では1団体がダーツ、バルーンアート、射的、輪投げなどを行い、家族連れが楽しんでいました。模擬店では、野菜、パン、ピザなどの販売やアロマワークショップに3団体が出店し、地域の行事として多くの方が足を運んでくれました。

舞台発表



展示会場



子ども広場



模擬店



振興

小手指地区ソフトボール大会



11月19日(日)晴天のなか小手指地区ソフトボール大会が、北野中学校の校庭を会場に6チーム(104名)の参加により開催されました。各チームとも日ごろの練習成果を十分に発揮された大会となりました。



小手指まちづくり協議会視察研修

11月21日(火) 18名の参加により長野県にある「日本聴導犬協会」の視察研修を行いました。

日本では、耳の不自由な方が約35万人と言われています。しかし、日本での聴導犬の歴史は浅く、実際に活躍している聴導犬の数は数十頭で認知度を含め圧倒的に少ない状況だそうです。今回は、聴導犬の訓練やデモンストレーションを視察し、一頭でも多く活躍する聴導犬が増えることを期待しました。



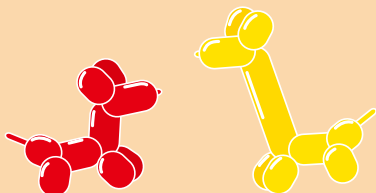


小手指ジャンボリー



12月2日(土) 小手指まちづくりセンター(公民館本館)ホールにおいて、小学生向け異年齢交流事業「小手指ジャンボリー」が開催され31名が参加してくれました。

3年ぶりに昼食会(更生保護女性会が作ってくれた「すいとんと混ぜご飯」)を含め、午前は原嶋厚子さん(並木地区在住)を迎え「みんなで作ろう! バルーンアート教室!!」、午後は小暮勝彦さん(小手指地区在住)を読み手に迎え「小手指方言かるた大会」を行いました。参加者は、みんな真剣にそして楽しみながら一日を過ごしました。



歳末一斉合同パトロール

12月8日(金) 小手指地区で行っている「歳末一斉合同パトロール」に多くの参加者(187名)が集まりました。主催者からのあいさつの後、参加者は担当地区に別れパトロールを実施し青パトも出動。

12月にし
ては気温も高
く、風もない
状態で歳末の
パトロールを
行うことがで
きました。



歳末特別警戒

12月28日(木)~30日(土) 火気を使用する機会も多く、年末の慌ただしい中でちょっとした油断から発生する火災や、放火による火災を防止するために、消防団や自衛消防隊が管轄内の広報を行うなど「歳末火災特別警戒」を実施しました。



編集 後期

明けましておめでとうございます。

令和6年は、能登半島地震・飛行機炎上事故と災害続きの年明けとなってしまいました。被災地の復旧と被災者の方々の一日でも早い日常生活が取り戻せるよう、支援の輪を広げていきたいと思ひます。

災害はいつ来るのかわかりません。今一度、防災について再確認しませんか。今年もよろしくお願ひいたします。